

郷土摂津 いにしえ通信

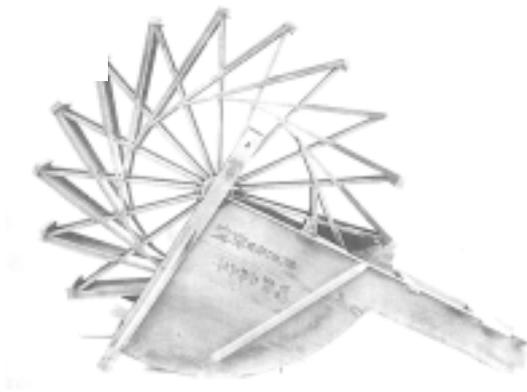
第63号 平成15年7月1日

発行 摂津市教育委員会 生涯学習部生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

TEL (06) 6383-1111 TEL (072) 638-0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>



写真の水車は直径164cm。羽根は17枚で大型の部類に属します。水車のスポークは細い材料を使いながら互いに組み合せて強度を保ち、軽くて丈夫な工夫が見られます。

農具 から見た



水車（踏車）

井路（用水路）から田に水をくみあげる水車で、標準名を踏車（ふみぐるま）といい、広く全国的に使われました。低湿な摂津地域では洪水時の悪水の排水にも活躍しました。また呼称もスイシャ、ミズグルマ、ミズカキグルマと様々でした。

羽根の縁に乗って階段を上がるように踏みます。すると体重で車が回って羽根が水をかき揚げ、樋から田に水を流し込みます。

平成15年度・夏休み体験学習講座

ワクワク！ 弥生人になろう

期 間 7月24日から8月28日までの毎木曜日（8月7日は除く）全5回

時 間 午後1時から4時まで（8月21日は午前10時～午後4時まで）

場 所 千里丘公民館（生活実習室ほか）

講 師 生涯学習課職員

材料費 1200円 **対 象** 小学生

定 員 15名

申し込みは、ハガキに、住所・氏名・電話番号を記入のうえ、摂津市教育委員会生涯学習課まで。応募者多数の場合は抽選。

7月15日締切（当日消印有効）

古代の生活って？ 弥生人って？
むかしむかしにタイムスリップ！

講座の内容は、勾玉づくり、土器づくり、サヌカイトで石器づくり、土笛づくり、燻製（くんせい）づくりなどです。

7月のふるさと摂津講座

日 時 7月16日（水）午後2～4時

と ころ 摂津市総合福祉会館 第1会議室

講 師 範國忠士氏（ふるさと摂津案内人）

内 容 城と石垣

受講に際しては、申し込みは必要ありません。直接会場へご来場ください

石碑・顕彰札の紹介

地名に残る和道 慶長堤と輪道

昔は、淀川に堤防がなく、淀川沿いの村では洪水時の水防のため、村の周囲に堤防を造りました。それは「輪道」と呼ばれました。のちに「和道」と呼ばれるようになります。この和道が地名として残りました。その他「囲み堤」「輪中」とも呼ばれました。

輪道と呼ばれた堤は、現在の鳥飼和道一丁目周辺に端を發し、鳥飼八防と新在家の境界を抜けて鳥飼野々三丁目付近に至り、鳥飼八町を横断して、鳥飼上まで延々15キロに及ぶ堤でした。鳥飼の地は昔から、淀川、安威川その他の河川が通じ、長雨や豪雨になるとこれらの河川が氾濫し、人々は洪水から田畑を守る水との戦いを繰り返してきました。そこで、慶長元年（1596）に豊臣秀吉は水防のための堤を造らせました。この堤が「慶長堤」です。当時は水防施設だけでなく、淀川の渡し場で下船した人々が富田方面や大阪方面に往来する道路として利用されました。また有事の際は要害の地となり、軍事的役割も果たしました



囲み堤「輪道」石碑

摂津市域の歴史をたずねて

【所在地】 摂津市鳥飼上一丁目5番地先

【設置年度】 平成6年度（公園みどり課）



第27回 埋もれた摂津市の歴史

明和池遺跡の発掘調査 (2)



出土土器(広報せつつ第357号掲載写真)

昭和62年、庄屋一丁目位置する明和池遺跡で、大阪府教育委員会により発掘調査が実施されました。このときの調査では弥生時代から戦国時代にいたる7時期の堆積が確認されました。これら各堆積から土器などの遺物が比較的少量に出土しました。大半は食器や煮炊きに使用された土器です。しかし中には、中国から輸入された青磁や白磁、北宋銭など通常の一般の集落で出土するものとは性格が異なるものが見られます。また、とくに注目すべきものとして、石帯の飾り（丸鞆・まるとも）が挙げられます。（つづく）